



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社ロックオン 上場取引所 東
 コード番号 3690 URL http://www.lockon.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩田 進
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)又座 加奈子 (TEL)06(4795)7500
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	329	—	58	—	59	—	39	—
26年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 39 百万円 (—%) 26年9月期第1四半期 — 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	12.70	12.56
26年9月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第1四半期の業績及び増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	963	845	87.8
26年9月期	1,029	806	78.4

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 845 百万円 26年9月期 806 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	709	—	125	—	125	—	72	—	23.24
通期	1,545	13.6	350	40.4	350	49.9	203	47.5	64.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期1Q	3,129,300株	26年9月期	3,117,300株
② 期末自己株式数	—	26年9月期	4,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3,129,300株	26年9月期1Q	2,851,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開しているインターネット広告の国内市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとしたスマートデバイスや、動画広告の伸長に加えて、検索連動型広告に代表される運用型広告や、リアルタイムで広告掲載の入札を行うターゲティング広告などが引き続き高い成長を遂げました。「2013年（平成25年）日本の広告費」（株式会社電通調べ）によると平成25年のインターネット広告市場は9,381億円（前年比8.1%増）と順調に拡大しております。

一方、当社グループが営む事業のもう一つの対面市場となるEC市場につきましては、経済産業省「平成25年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、日本国内におけるBtoC EC市場は11兆1,660億円（前年比17.4%増）と2桁の伸びを示し、堅調に成長しております。

このような経営環境の下、当社グループは、「広告プラットフォーム事業」を収益成長促進事業、「商流プラットフォーム事業」を収益基盤事業と位置付け、これまでその育成に努めて参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は329,901千円、営業利益は58,796千円、経常利益は59,322千円となり、当期純利益は39,736千円となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

① 広告プラットフォーム事業

当事業はインターネット広告効果測定システム「AD EBiS」及び国産リスティング広告運用プラットフォーム「THREe」で構成されます。

当事業においては、「AD EBiS」を可視化プラットフォームへと進化させる3rd Partyデータ連携の推進に取り組み、また営業面では大口顧客の開拓を行いました。その結果、売上高は220,977千円、営業利益は35,921千円となりました。

② 商流プラットフォーム事業

当事業はECオープンプラットフォームである「EC-CUBE」及びECサイト構築の受託開発を行うサービスである「SOLUTION」で構成されます。

当事業においては、DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）構築案件をリリースし、広告プラットフォーム事業と商流プラットフォーム事業のシナジーを高めるサービス連携を推進しました。その結果、売上高は108,924千円、営業利益は22,875千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ65,766千円減少し、963,327千円となりました。主な要因は、法人税等の納付等で現金及び預金が59,212千円減少したことによります。負債については、前連結会計年度末と比べ105,368千円減少し、117,331千円となりました。これは主に、未払法人税等が74,740千円減少したこと、及び未払金が19,593千円減少したことによります。純資産については、四半期純利益39,736千円の計上等により、前連結会計年度末から39,601千円増加し、845,995千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期第2四半期（累計）及び通期連結業績予想につきましては、平成26年11月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,293	597,080
売掛金	199,863	189,341
仕掛品	—	122
前払費用	12,062	23,337
繰延税金資産	13,125	4,914
その他	2,385	2,595
貸倒引当金	△1,410	△1,290
流動資産合計	882,320	816,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,791	34,791
減価償却累計額	△24,286	△24,931
建物及び構築物(純額)	10,504	9,859
工具、器具及び備品	149,353	139,636
減価償却累計額	△115,476	△105,566
工具、器具及び備品(純額)	33,876	34,070
有形固定資産合計	44,381	43,929
無形固定資産		
ソフトウェア	6,815	5,956
その他	46	46
無形固定資産合計	6,861	6,003
投資その他の資産		
投資有価証券	7,938	7,938
繰延税金資産	2,392	2,260
差入保証金	64,701	65,836
保険積立金	16,479	17,028
その他	4,932	4,948
貸倒引当金	△914	△720
投資その他の資産合計	95,530	97,292
固定資産合計	146,773	147,225
資産合計	1,029,094	963,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,024	14,309
未払金	80,251	60,657
未払法人税等	88,740	14,000
預り金	16,343	15,714
賞与引当金	17,400	8,400
その他	3,939	4,250
流動負債合計	222,700	117,331
負債合計	222,700	117,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,202	268,730
新株式申込証拠金	1,044	—
資本剰余金	258,192	258,708
利益剰余金	279,365	319,083
自己株式	△383	—
自己株式申込証拠金	261	—
株主資本合計	806,682	846,523
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△288	△527
その他の包括利益累計額合計	△288	△527
純資産合計	806,394	845,995
負債純資産合計	1,029,094	963,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	329,901
売上原価	114,670
売上総利益	215,231
販売費及び一般管理費	156,434
営業利益	58,796
営業外収益	
為替差益	82
受取家賃	320
償却債権取立益	200
その他	30
営業外収益合計	633
営業外費用	
株式交付費	107
営業外費用合計	107
経常利益	59,322
税金等調整前四半期純利益	59,322
法人税、住民税及び事業税	11,241
法人税等調整額	8,344
法人税等合計	19,586
少数株主損益調整前四半期純利益	39,736
四半期純利益	39,736

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,736
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△238
その他の包括利益合計	△238
四半期包括利益	39,497
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	39,497
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結会計年度(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	広告プラット フォーム	商流プラット フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	220,977	108,924	329,901	—	329,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	220,977	108,924	329,901	—	329,901
セグメント利益	35,921	22,875	58,796	—	58,796

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。